



2019年夏休みを振り返って

NO.78

日韓高校生交流キャンプレポート

連日のように日韓関係がこじれているとの報道を耳にします。韓国では日本への旅行を控えるムードが高まり、高校野球のU18の選手団が訪韓した際には万が一のトラブルを避けるためポロシャツからJapanのロゴが外されたことも話題になりました。これまでにない緊張の高まる中ではありますが、グローバル通信71号でご紹介した日韓高校生交流キャンプは予定通り実施されました。本校から応募した高校2年生の鰐淵君が選考を通過し、8月5日～9日まで日本人派遣団30名の一員として訪韓し、韓国側の30名の高校生と交流しました。高校生の視点から見た日韓関係はどのようなものだったのでしょうか？レポートを寄せてもらいましたので、ぜひご一読下さい。

国境を超える友情

高校2年1組 鰐淵 裕太

こんにちは。5年1組の鰐淵裕太と申します。今回はこの場をお借りして、日韓高校生交流キャンプのご報告と感想をお伝えできたらと思います。どうぞ最後までお付き合いください。

私が韓国に渡航した時期というのは、ご承知の通り日韓関係が過去最悪と謳われていた時期であります。つい先日も韓国側がGSOMIAの破棄を宣言し、日韓関係はますます冷え込む一方です。また、様々な日韓交流行事が中止となる中で、今回の交流キャンプが開催されたことは大変有意義なことであると思います。なぜなら、国対国の関係と、人対人の関係は全く別物であると証明できたからです。私の持論として、国は国、人は人という考えがあります。もちろん、韓国には根っからの反日家もいるでしょうし、親日家もいるでしょう。ですが、十把一絡げに韓国人はこうだと決めつけることはあってはならないと思います。今回のキャンプで様々な素敵な出会いができましたし、本当に韓国に行ってよかったと思います。

さて、では実際のところ韓国はどうだったのかについてお話ししましょう。結論から申し上げますと、非常に日本と似ていて、とても親近感が湧くような国でした。これは行かないとわからないのですが、日本語を韓国語に置き換えただけ、そういった印象を受けました。今の日本の報道を見ていると韓国の負の面を強調しているようにも思えますが、実際は日本人にとって受け入れやすい国であるはずなのです。韓国人学生は日本人学生とほとんど変わりませんでした。私はキャンプ中、韓国人と会話をしているという実感はなく、昔からの友達と会話をしているという感覚を受けました。話していることは他愛もないくだらない話題なのですがそれが本当に楽しい。やはり友情に国境などないの





ではないかと思ってしまう。また、韓国人の子たちは体感として7割近くが日本語を流暢に話せていたと思います。私達のグループでは公用語が日本語になっていくくらいです。私は日本語とせいぜい稚拙な英語しか話せないで、脱帽しました。そのおかげか、事業発表会の話し合いも言語面での壁にはぶつかりませんでした。ですが、議論自体は非常に白熱しました。それは同時に韓国人学生のレベルの高さの表れだと思います。私たちが満を持して提案した案の穴を見抜き、その改善案をお互いで考えたことはとても良い思い出です。韓国人の子たちは自分が思ったことを、スト

レートにきちんと伝えてくれるので非常に議論がやりやすかったです。発表準備は発表当日の朝方4時過ぎまでに及びましたが、その甲斐もあり、私達は審査員特別賞をいただくことができました。ですが、賞よりもチームのみんなと一緒にワイワイ楽しく発表準備ができたという事自体に価値があると思います。私達の仲は日に日に良くなっていき、最終日には本当に別れるのが辛かったです。最終日前日の夜、私達は一部屋に集まって、前日3時間弱しか寝ていないのにも関わらず、疲れを忘れて狂ったように遊んでいました。本来は0時30分までしか認められていないのを、メンターさんが3時まで内緒で延ばしてくれたので、思いっきり遊ぶことができました。韓国人の子たちは、日本人の3倍はノリがいいです。そこは日本と韓国の国民性の違いでしょうが、私達が気圧される位ノリが良かったです。私達も彼らに引っ張られて楽しくワイワイ遊んでいました。（おかげで隣の部屋のアメリカ人から苦情が入ってしまいました…）最終日、私達はキムチ作りをしたのですが、これが最後のイベントかと思いつ少し感傷に浸ってしまいました。別れるとき、呆然としながら

も今までの感謝とまだどこかで再会することを約束して、日本人学生は金浦空港に向かうバスに乗り込みました。とても辛かったです。ですが、日本と韓国は物理的に距離が近いしLCCなどを駆使すれば往復14000円程度で行けるので簡単に会えると思います。高校のうちは受験があるので無理でしょうが、大学に入って時間と経済的余裕ができれば必ず会いに行きたいと思います。

いかがでしたでしょうか。少し後半部分はダラダラとした文章になってしまいましたが、交流キャンプの魅力が多少なりとも伝わったのではないのでしょうか。現在でもグループの子とはLINEで連絡をとっています。また週に1回程度LINEのビデオ通話をしており、あのときの関係はまだ続いています。中には、日本に留学したいという子もいて、大学受験に向けて一緒に頑張っていきたいです。日本と韓国は地理的にも文化的にも永遠の隣人であることには変わりありません。最近の日韓関係はとても冷え込



んでおり、韓国政府も意図的に反日を煽っているようにも見えますが、今回築き上げられた友情というものはその程度では揺るがないと確信しています。残念ながら今回のキャンプではソウル市内を十分に回れたとは言えないため、必ず韓国にまた行って、チームのみんなと観光をしたいと思います。また、みなさんも韓国に行ってみてはいかがでしょうか。日本人だとなにかと不当な差別を受けるのではないかと思うかもしれませんが、実際にそのような反日活動をしている方を除いては、日本人に非常に好意的です。隣国で気軽に行けるような距離の国ですし、是非ともおすすめします。最後にこの場で、今回のキャンプを主催していただいた日韓・韓日経済協会、私達を5日間サポートしてくださったメンターのスギョンさん、そして何より、楽しい思い出をたくさん作ってくれたチーム2のみんなに心より御礼を申し上げて締めさせていただきますと思います。最後までお付き合いいただきありがとうございます。

イベント紹介(Japan Society Junior Fellows Leadership Program) 高1・2対象

ジャパン・ソサエティー・ジュニアフェロー・リーダーシップ・プログラム

ジャパンソサエティーとは1907年にニューヨークに設立された米国の民間非営利団体です。個人、法人、財団からの支援・協力のもと、全米随一の規模を誇る日米交流団体として、幅広い活動を展開しています。

これまでのプログラムではニューヨーク近郊でのホームステイ、学校体験、現地の高校生との交流、SDGsから選んだテーマのチーム・プロジェクト、またワシントンDCへの研修旅行や企業訪問などを通して、米国文化理解、日米関係の考察を深めました。

この度2020年度プログラムの案内が届きましたので、興味のある生徒諸君は挑戦してみてはいかがでしょうか。

応募資格

- ①日本国内の高等学校第1学年または第2学年に在籍していること。
- ②アメリカ合衆国に渡航可能な旅券を有していること。
- ③英検準2級以上、もしくはTOEIC他それ同等の資格を有していること。
- ④学校長、もしくは担任教師が推薦する成績優秀な生徒であること。
- ⑤心身ともに健康であること。

研修日程 2020年3月14日(土)～4月3日(金) 21日間

滞在形式 ホームステイ及び一部ホテル滞在

参加者負担金 17万円

選考過程

1次選考(書類選考)

2次選考(グループ面接) 11月23日(土)午前又は午後 品川近辺にて
日本語・英語面接及びグループディスカッション

校内応募人数枠 2名まで（プログラム全体で10名） 校内で3名以上の場合は選考を実施。
校内募集締め切り 9月30日（月）午後5時までに以下の課題をグローバル教育部まで提出
手書きの場合はボールペンを使用すること。

課題 以下のURLから指定の原稿用紙をダウンロードし、小論文を作成する。

「将来の目標やキャリアの希望を達成する上で、Junior Fellows Leadership Programでの
経験をどう役立てたいか」

横書き 800字以内（ワープロ使用可） *字数内に学校名・氏名を含む。題名は不要

研修内容及び必要書類の詳細は www.japansociety.org/japanese-fellows-apply を参照。

ホームステイ・学校体験

アメリカ人家族との日常生活、現地高校での体験通し、アメリカ文化理解、同世代ネットワークを築きます。現地受け入れ校は Japan Societyの規定に従い、ニューヨーク近郊の公立高校から3～4校選定し、受け入れ先の学校の生徒の家族を中心として、担当教員の推薦でホストファミリーを選出します。



ジュニア・フェロー アルムナイ(同窓生) との交流

日本研修に参加したアメリカ人フェロー、またアメリカ研修に参加した日本人フェロー・アルムナイと交流を深め、日米のネットワークを広げます。



研修旅行

ニューヨーク近郊の都市への研修旅行を通して、アメリカの歴史・文化を学び、またフェロー同士の親交を深めます。

